

研修企画書 (例)

コード		企業団体名		NO
研修名 自己理解・他者理解		研修対象 管理者層(課長・係長職)		人数 名
実施(予定)日	日数	時間数 3.5 時間	会場・場所	
<p>研修の目的・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の第一印象を確認する・・・自分が自分に対して持っているイメージと他人が自分に対して持っているイメージがあっているかぼうかを確認する。 ・どういう行動をとるとどう思われるかを把握する・・・人はその人の言葉と行動で判断する。その結果、自分に対してのイメージが決まってくる。 ・他者理解、チーム固めを更にすすめる <p>・相互の関係改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネガティブなフィードバックに挑戦する。言いにくいことをしっかり伝える ・オープンなルールとつくる。 ・これをやるときの工夫でフィードバックをやるが、びっくりする人がある。 				
<p>期待する成果・結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が他人からどう見られているか、どう改善すべきかを認識する 				
<p>研修の進め方(特徴)</p> <p>講義、個人作業、グループ討議、発表 適宜、休憩を入れる</p>			<p>使用する教材・機材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・プロジェクター・白板 	

研修プログラム

プログラム		
09:00	1. イメージ交換	<p>1. [実習]自分の印象は他人にどう見られているかをグループ内で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーAに対し、他メンバーがカード(イメージカード)に他メンバーが持つ印象を「動物・もの」にたとえて書く。 ・メンバーAはグループ他メンバーからイメージカードを受け取り、その中から自分のイメージに合うものを選ぶ。 ・グループメンバーは別にそのメンバーにふさわしいイメージカードを選ぶ。 ・メンバーAのイメージとグループメンバーがAに対して持つイメージとの差異を確認する。 <p>2. [講義]自己認知、他者認知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己認知、他者認知の差同 ・単一イメージ多様イメージ ・話題と親密さ ・イメージ印象はどこで決まるか
12:30	2. 対人関係実践理論	<p>1. [講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互の関係改善を行う ・ジョハリの窓を使う。